

「介護家族のつどい」を開催します

参加無料

介護についての悩みや疑問、相談など、日頃思っていることを参加者同士で語り合い、介護のヒントを得たり、気分転換したりしませんか？

また、介護サービスの基礎知識を身に付けて、今後の介護に活かしましょう。

- ▶日時 3月20日(月) 午前10時～11時30分
 - ▶場所 保健センター
 - ▶対象者 介護に悩んでいるかた
介護をはじめられるかた
介護をされてきたかた など
 - ▶定員 10人(先着順)
- ※事前に電話でお申込みください。

前半は『ケアマネジャーに聞いてみたい介護保険のギモン』、後半は『参加者同士の交流会』を予定しています。
普段は聞けない介護保険のギモンをこの機会に聞いてみませんか？
「デイサービスに行きたいときの手続きはどうしたらいい?」「どんなサービスの種類があるの?」などといった質問にお答えします。

申込み・問合せ＝地域包括支援センター（保健センター内） ☎76-1325

戦没者等のご遺族の皆さまへ

請求をお忘れなく！ 第十一回特別弔慰金の請求期限は、3月31日(金)までです！

第十一回特別弔慰金は、終戦75周年の節目にあたり、戦没者等のご遺族に対し、国として弔意の意を表すために支給されるものです。

- 【請求期限】 3月31日まで（請求期限を過ぎると、受ける権利がなくなります。）
- 【支給対象者】 戦没者等の死亡当時のご遺族で、令和2年4月1日（基準日）において、「恩給法による公務扶助料」や「戦傷病者戦没者遺族等援護法による遺族年金」等を受けるかたがいない場合、次の順番による先順位のご遺族お一人に支給されます。
 - 1 令和2年4月1日までに戦傷病者戦没者遺族等援護法による弔慰金の受給権を取得したかた
 - 2 戦没者等の子
 - 3 戦没者等の ①父母 ②孫 ③祖父母 ④兄弟姉妹

※戦没者等の死亡当時、生計関係を有していること等の要件を満たしているかにより、順番が入れ替わります。

 - 4 ①から③以外の戦没者等の三親等内の親族（甥、姪等）

※戦没者等の死亡時まで、引き続き1年以上の生計関係を有していたかたに限りです。
- 【支給内容】 額面25万円、5年償還の記名国債

問合せ＝福祉課 社会福祉係 ☎76-5132

消費生活相談 Q & A



電子レンジ使用中の発煙・発火 事故に注意！

【事例1】 少量の冷凍オクラにラップをかけて、電子レンジで「だいたい、これくらいの秒数」と適当に加熱したら発火し、食品とラップが燃えた。（少量過加熱）

【事例2】 インスタントコーヒーを水で溶き、電子レンジのオート機能で温めていたら、庫内の側面が発煙・発火した。何が発火したのだろうか？（庫内の汚れ）

【事例3】 大さじ1杯ほどの玄米を紙封筒に入れて、オート機能で加熱したら発火し、玄米が封筒ごと燃えた。（適さない容器）

日常的によく使われる電子レンジは、特に冬場には食品を温めるのに使用する機会が多くなりますが、使用方法を誤ると発煙・発火事故の元になります。

事故の原因はさまざまありますが、加熱のし過ぎが多く見られます。特に、水分が少ない食品（さつまいもや干物など）、高温になりやすい食品（中華まんじゅうなど）、油脂の多い液体（バターなど）は短時間で加熱が進んだり、少量の食品の加熱にオート機能を使用すると加熱しすぎて発煙・発火することがあります。

他にも、庫内に溜まった食品カスや汚れ、電子レンジ不可の容器や包装（アルミ箔などの金属類、紙類など）、破裂しやすい食品（殻付き卵やウインナーソーセージなど）を加熱した事が原因で発煙・発火することがあります。

【消費者へのアドバイス】

- ・加熱のし過ぎに注意しましょう。使用時には必ず取扱説明書で、適した機能や設定時間を確認しましょう。迷った場合は加熱時間を短めに設定し、様子を見ながら加熱するようにしましょう。
- ・定期的にレンジ庫内や扉を清掃し、食品カスや汚れを取りましょう。
- ・電子レンジ不可の容器や包装、電子レンジでの加熱に適さない食品の加熱はしないようにしましょう。
- ・電子レンジの周囲には、燃えやすいものを置かないよう注意しましょう。
- ・万一、発煙・発火したときは、電子レンジを停止させて電源プラグを抜きましょう。扉を開けて庫内に空気が入ると、炎が大きくなることがあり危険なため、扉を開けずに煙や火が収まるのを待ちましょう。

【困ったときの相談窓口は…】

消費者ホットライン
☎1888（1888泣き寝入り）と覚えてください。
埼玉県消費生活支援センター熊谷
☎048・524・0999
役場「消費者相談窓口」
☎76・5133（農林商工課内）

みごと文芸

俳句と短歌を募集中！
毎月5日までに総務課へお届けください。

短歌

翼の下は雲一面お陽さまはいつもいつもの処で笑う

丸山 好子

西のそきへ真白く浮かぶ浅間山時にたわむれ富士山と呼ぶ

中里 勝江

寒風にさらされ咲けり梅一輪生き抜くぞよと凜と空見る

清水ミヨ子

豊昇龍 阿炎に飛猿若手力士で 角界開けたり

原 武久

北風に背中押される 散歩道落葉が我を超越してゆく

小林カツ子

元旦に家族揃って笑顔あり 雑煮はしつけ旨さ増したり

福島恵美子

露のとう小さな姿そこにあり 春の足音教えてくれる

原田 淳子

浩然たる景色抜ければ身も心すつきり健やか万歩経る道

有馬 康博

冬枯れの庭を彩るロウバイや薄花びらの香り漂う

有馬 千代

俳句 梅林の雲流れゆく午後三時

飯尾 君江

俳句・短歌の投稿には、住所・氏名・連絡先・ふりがな等を必ず明記してください。